

山梨県奈良田方言の原因・理由表現

吉 田 雅 子

（1）調査の概要

- ・奈良田方言話者：深沢和江氏．女性．1929S04 年生まれ，調査当時満 77 歳
- ・在外歴なし．両親とも山梨県早川町奈良田生まれ．夫も奈良田生まれ．話者は生家から転居したことがなく，夫が移籍した．
- ・調査日 2007H19 年 2 月
- ・調査者 吉田雅子（山梨県甲府市出身．母語方言は山梨西部方言．）

（2）調査結果の概要

話者は，奈良田方言話者としての意識が非常に高く，また言語感覚も鋭い方である．言語感覚の鋭さも，分析的というよりはむしろ，普段の言語生活を調査の場でもいきいきと再現できるタイプともいえるべきもので，調査文を見てそれを自分の生活にひきつけ，より談話に近い形で回答してくださった．その結果，調査文にぴたりと即した回答とならなかったものも出たが，奈良田方言の言語生活に即した回答であると判断されるものは結果に示し，調査者が注記を加えるようにした．

音韻の特色としては以下のようなものがある．

- ・ガ行鼻濁音がある．（以下，「カ° キ° ク° ケ° コ° 」で表記する．）
- ・/tu/（トゥ），/du/（ドゥ）があり，共通語の/cu/（ツ）はほぼ規則的に/tu/に置き換わり，共通語の/zu/（ズ）もほぼ規則的に/du/に置き換わる．

（例）アトゥキ°（厚着），コーオトゥ（甲乙），ネトゥ（熱），ヒトトゥ（ひとつ），シドゥカ（静か），ミドゥタマリ（水たまり），ケッコンシテルドゥラ（結婚しているのだろう．推量助辞の「ズラ」）

アクセントは，奈良田方言は周囲と異なり言語島の様相を示すことはよく知られている．話者は奈良田方言アクセント体系を保持し，回答でもそれがよくわかる．調査時の録音から，音声データを整備する予定である．

原因・理由表現の形式としては，以下のようなものが出た．あらあらの説明になるが，

- ・ドーデ：特殊な指定のダが，当該地域ではドーになり，それにデが付いた形．「～のだで」や「～ので」に相当する．
- ・デ：「～ので」に相当する形．

- ・ニ：「～のに」や「～ので」に相当する形.
- ・ドーカ°：当該地域で用いられるドーに助詞の「が」が付いた形.
- ・ドーモノ（一）：当該地域で用いられるドーに終助詞の「モノ（一）」が付いた形.

のようにいえる.

調査結果全体を見ると、「ので」相当の形式が多く用いられることがわかる. 共通語では「から」を用いるところ、「ので」相当のドーデ、デ、ニが出現する.

(3) 記述の方法

- ・調査文番号と調査文の後に、カタカナ表記の文節分から書きで調査結果回答を示す. 原因・理由表現相当形式は[]でくくる.
- ・回答の後の〈 〉の中に、話者の回答の共通語訳を記す. 前述したように、話者は調査文の趣旨をとらえそれを奈良田方言談話に近い形で回答したため、調査文に直に即した内容になっていないこともあるためである.
- ・必要に応じ、次のように注記を付す.

〈 〉話者による付加情報.

() 調査者による付加情報.

1 「から」と「ので」の用法

1-1 事態の原因（接続調査を兼ねる）

1-1-1 毎日雨が降る {から／ので}, 洗濯物が乾かない。(動詞述語)

コマリダ, マイニチ アメカ° フル[ドーデ] センタクモノカ° カワカノーデ
コマリイソ.

〈困った, 毎日雨が降るのでせんたくものが乾かないで困るよ.〉

1-1-2 毎日雨 {だから／なので}, 洗濯物が乾かない。(名詞述語)

コマリイソ, マイニチ アメ[デ], センタクモナー ヒトトゥモ カワカノー[ドーデ]
コマル.

〈困ったよ, 毎日雨で洗濯物は一つも乾かないので困る.〉

(名詞述語の形では回答されなかった.)

1-1-3 天気がいい {から／ので}, 洗濯物がよく乾く。(形容詞述語)

キョーワ ヨカッタ, テンキカ° ヨイ[ドーデ] センタクモノカ° ヨク カワイ
テ ヨカッタ.

〈今日はよかった, 天気がよいので洗濯物がよく乾いてよかった.〉

1-1-4 この部屋は静か {だから／なので}, 仕事に集中できる。(形容動詞述語)

コノヘヤー シドゥカ[デ], シコ° トー スルニ ヨイ.

〈この部屋は静かで, 仕事をするのによい.〉

1-1-5 タベ大雨が降った {から／ので}, 地面に水たまりができています。(動詞述語)

ユンベ オーアメカ° フットー[ドーデ] アサニ オキテミタイバ ミドゥタマリ
カ° アッチコッチニ デキテーテドーカ°.

〈タベ大雨が降ったので, 朝に起きてみたら水たまりがあちこちにできていたんだが.〉

1-1-6 子ども {だから／なので}, わからなかった。(名詞述語) <G 本 141>

コドモ[ドーデ] ワカラノー コトモ アルダイソ.

〈子供なのでわからないこともあるんだよ.〉

1-2 行為の理由(後件のモダリティ制限の調査を兼ねる)

1-2-1 体調が悪い {から／ので}, 仕事を休むことにした。(叙述)

①キョーワ ウントナヨー オリヤー アンバイカ° ワルイ[ニ] シゴトー ヤス
マシテ クレデー.

〈今日はうんとね, 私は具合が悪いので仕事を休ませてください.〉

②キョーワ ウントナヨー オリヤー アンバイカ° ワルイ[ニ] シゴトー ヤス
ミタイ.

〈今日はうんとね, 私は具合が悪いので仕事を休みたい.〉

③キョーワ ウントナヨー オリヤー アンバイカ° ワルイ[ニ] シゴトー ヤス
ム.

〈今日はうんとね, 私は具合が悪いので仕事を休む.〉

④ウラー ダメダ キョーワ グアイカ° ワルイヨーノ コト[ドーニ], ウラー
シコ° トー ヒーヤスミタイ.

〈私はだめだ, 今日は具合がわるいようなことなので, 私は仕事を休みたい.〉

(叙述としては③が適当だが, 普段は叙述としても①のような「休ませてください」にあたる依頼表現や, ②や④のような願望表現を使うとのことである.)

1-2-2 体調が悪い {から／ので}, 今日は仕事を休もう。(意志)

ダメダ キョーワ, アンバイカ° ナンドカ キモチカ° ヨカーナイ[ニ], シコ°
トー ウラー ヒーヤスミタイニ.

〈だめだ今日は, 具合がなんだか, 気持ちがよくないので, 仕事を私は休みたいのだが.〉

1-2-3 夜道は暗い {から／ので}, 一緒に帰ろう。(勧誘)

コカ° ーノ マックライ ミチオ ヒトリデ アルカー オッカナイ, イッシヨニ
イカザー.

〈こんなに真っ暗い道を一人で歩くのは怖い, 一緒に行こう.〉

({から／ので} にあたるものは形式としては出なかった.)

1-2-4 赤ん坊が寝ている {から／ので}, 静かにしろ。(命令)

アカコ° カ° ネテル[ドーデ] ソット オトオ タテチョヨ, メオ サマスヨ.

〈赤子が寝ているのでそっと、音を立てるなよ、目を覚ますよ.〉

1-2-5 赤ん坊が寝ている {から／ので}, 静かにしてくれないか。(依頼)

①アカコ[°] カ[°] ネットル[ドーデ] ワルイドーカ[°] シドゥカニ シテクレデヨ.

〈赤子が寝ているので悪いのだが静かにしてくださいよ.〉

②ヌコイ コカ[°] ネットル[ドーデ] シドゥカニ シテクリョー.

〈小さい子が寝ているので静かにしてくれよ.〉

1-2-6 雨が降る {から／ので}, 傘を持って行け。(命令) <G 本 095>

キョーワ フルカモ シレノーヨ, カサー モッテ イカデヨ.

〈今日は降るかもしれないよ, 傘を持って行きなさいよ.〉

({から／ので} にあたるものは形式としては出なかった. イカデヨは「行かれよ」に由来する形.)

1-3 判断の根拠

1-3-1a 星が出ている {から／ので}, 明日もいい天気になるだろう。

①ホシカ[°] デテル[デ] コンヤワ, アシター ヨイ オテンキダヨ, ダイジョーブ,
ブチモノマーリニャ イケルヨ.

〈星が出ているので今夜は, 明日はよいお天気だよ, 大丈夫, 種蒔きには行けるよ.〉

<種蒔きの前に天気をよく見た.>

②ホシカ[°] ヨク デテル[ニ] ダイジョーブダヨ, アシタモ オテンキダ.

〈星がよく出ているので大丈夫だよ, 明日もお天気だ.〉

1-3-1b A「明日もいい天気になるだろう。」

B「どうしてわかるの?」

A「星が出ている {から／ので}。」

ホシカ[°] デテル[デ] アシタワ ダイジョーブダヨ.

〈星が出ているので明日は大丈夫だよ.〉

(回答が得られたので記載しておく.)

1-3-2 左手薬指に指輪をはめている {から／ので}, 結婚している。

オイシャー ヒダリテノ クスリユビニ ユビワカ[°] ハマッテル[ドーデ] ケッコ
ンシテルドゥラ.

〈あなたは左手の薬指に指輪がはまっているので結婚しているのだろう.〉

(推量形式での回答が得られた.)

1-3-3 咳が出るし, 熱っぽい {から／ので}, 風邪を引いたのかもしれない。

ナンド コリヤー セキカ[°] デルドーカ[°], ネットウッポイラカ, セナカカ[°] チッ
ター サブイ, セナカ サブイ[ニ], カゼオ ヒートードゥラカ, コマリダ.

〈なんだこりゃー, 咳が出るのだが, 熱っぽいだろうか, 背中が少し寒い, 背中が寒い

ので、風邪を引いたのだろうか、困った.)

(判断の根拠を表すのが、回答では「セナカ サブイ[ニ]」の部分になった。ネトウッポイラカは「熱っぽいだろうか」という推量の意.)

1-3-4 さっき新聞配達の声がした {から／ので}, 5時を過ぎたのだろう。

ハジメ シンブンハイタツノ オトカ° シタツケカ°, ハイ ゴジョー スギト
ードウラカ.

〈さっき新聞配達の声がしたが、もう5時を過ぎたのだろうか.〉

〈ハジメは「さっき」の意.〉

(オトカ° シタツケカ° は回想の言い方に当たる。思い起こした確認が、判断の根拠になっており、{から／ので} にあたるものは形式としては出なかった.)

1-4 発言・態度の根拠

1-4-1 危ない {から／ので}, この川では遊ぶな。

アブナイ[デ] コノ カーラジャー アスンヂョデヨー.

〈危ないのでこの河原では遊ぶなよ.〉

1-4-2 風邪をひくといけない {から／ので}, 厚着をして出かけなさい。

キョーワ ウント サブイ[デ] カゼオ ヒーチャ ナラノーヨ, アトゥギオ シテ
イカレヨー.

〈今日はうんと寒いので風邪を引いてはならないよ、厚着をして行きなさいよ.〉

1-4-3 今日の仕事は全部終わった {から／ので}, もう帰ろう。

キョーノ シコ° トワ コレデ ミンナ オワットー[デ], サー ヒッカエラザー.

〈今日の仕事はこれでみんな終わったので、さあ帰ろう.〉

1-5 理由を表さない用法

1-5-1 すぐにもどってくる {から／ので}, ここで待っていてくれ。

チューロ カイツテ クル[デ] ココデ オレ マッチテーデヨーシ.

〈すぐに帰ってくるのでここで私(を)待っていてよ.〉

1-5-2 一度でいい {から／ので}, ピラミッドに登ってみたい。

イチドデ ヨイ, ウラモ ピラミッドチュー トコ ノボッテ ミタイ.

〈一度でいい、私もピラミッドというところ登ってみたい.〉

({から／ので} にあたるものは形式としては出なかった.)

1-5-3 お願い {だから／なので}, お金を貸してください。

ゴムシンドー[ニ], カネオ カイテ クレデー.

〈お願いだよ、金を貸してください.〉

1-5-4 車を呼んであげる {から／ので}, すぐに病院へ行きなさい。

クルマー ヨンデ ヤル[デ], チュード ビョーインサ イカデチャーダヨ.
〈車を呼んでやるので, すぐに病院に行きなさいよ.〉

(チューロは「チュード」にも聞こえる.)

1-5-5 机の上においてある {から／ので}, 僕の財布取ってきてくれないか。

ツクエノ ウィエー オレカ° オイトー[デ]ナヨ, オレカ° サイフ モッテ キ
テクリョー.

〈机の上へ私が置いといたのだよ, 私の財布持ってきてくれよ.〉

1-6 原因・理由節の述語用法 (XはYからだ)

1-6-1 A「気分が悪い。」

B「あんなにたくさん飲むからだよ。」

A「ダメダ オリヤー, ナンドーカ キモチカ° ワルイドーカ°, ナデドゥラ.」

B「オー ソリヤー アカ° ーニ ノム[ドード]シャ カ° イニ.」

〈A「だめだ私は, 何だか気持ちが悪いのだが, なぜだろう.」

B「おーそりゃーあんなに飲むからだよ, たくさん.」〉

(ノム[ドード]は, 本来の言い方なら「ノムドード」となるのがくずれたのだと思われる.)

1-6-2 A「今日はデパートが込んでいるね。」

B「日曜日だからだろうね。」

B「キョーワ ニチヨービドー[デ] コー ニンケ° ンカ° ガイニ キテーテ
コンデール コトダ, ソレデモ.」

〈B「今日は日曜日なのでこう人間がたくさん来ていて混んでいることだ, それでも.」〉

1-6-3 A「最近, 太郎の機嫌が悪いんだ。」

B「おまえが次郎のことばかりほめるからじゃないか?」

A「コノコ° ロ タローノ キケ° ンカ° ワルイドーカ° コマリダ, ナゼドゥ
ラ.」

B「オイシノ ジローカ° コトオバッカ ホメル[ドード]ソ, ダメダヨ, コーオ
トゥ ツケトージャ.」

〈A「このごろ太郎の機嫌が悪いのだがこまった, なぜだろう」

B「あなたが次郎のことをばかりほめるからだよ, だめだよ, 甲乙つけたのでは.」〉

1-6-4 A「最近, 太郎の機嫌が悪いんだ。」

B「私が次郎のことばかりほめるからかなあ。」

B「オレカ° ソージャ ジローノ コトオ ホメル[ドード]ドゥラカ.」

〈B「私が, そうだ, 次郎のことをほめるからだろうか.」〉

1-6-5 A「最近, 太郎の機嫌が悪いんだ。」

B「次郎ばかりほめられるからかもしれないね。」

A「コノコ° ロ タローカ° ナンドーカ ブキケ° ンドーヨ, ナゼドゥラ。」

B「オイシノ ジローオ ヨク ホメテル[ドーデ] ヤキモチダカモ シレノー
ヨ。」

〈A「このごろ太郎が何だか不機嫌だよ, なぜだろう。」

B「あなたが次郎をよくほめているのでやきもちなのかもしれないよ。」〉

1-6-6 A「引っ越しの後, パソコンの調子が悪いんだ。」

B「それは, 運ぶときに落としたからにちがいないよ。」

ヒッコシノ アトニ パソコンノ チョーシカ° ナヨ ワルクナッテ, ホイデ ヨク
カンカ° エテミタイバナーヨ, ソリヤー ハコブ トキ オレ オンナチノ オトイ
トー[デ]ドーヨ.

〈引っ越しの後にパソコンの調子がね, 悪くなって, それでよく考えてみたらばね, そ
れは運ぶ時, 私, 同じの落としたからだよ.〉

(例文2つを一人が語る回答になった.)

1-7 従属節内のモダリティ表現

1-7-1 伝聞・推定表現など

1-7-1-1 (天気予報によれば)今夜は雨が降るそう {だから／なので}, 早めに帰ろう。

テンキヨホーカ° ホンコニ アタットードヨ, コンヤワ ナンドーカ アメカ°
フリソー[ドーナ], ハヤク ヒッカエラズニ.

〈天気予報が本当に当たったんだよ, 今夜は何だか雨が降りそうなので, 早く帰ろう.〉

1-7-1-2 (天気予報によれば)今夜は雨が降るらしい {から／ので}, 早めに帰ろう。

コンヤワ アメカ° フルツテ イットーヨ, ホンコニ, ハヤク ヒッカエラズヨ.
テンキヨホーワ ヨク アタル[ドーナ].

〈今夜は雨が降ると言ったよ, 本当に, 早く帰ろうよ. 天気予報はよく当たるので.〉

〈フルラシーも言う.〉

(「らしい {から／ので}」の回答が得られなかった.)

1-7-1-3 (雲行きを見ていると)今夜は雨が降りそう {だから／なので}, 早めに帰ろう。

コンヤワ ナンドーカ アメカ° フリソー[ドーナ°] ハヤメニ ヒッカエラズヨ.
ヌレルドーヨ.

〈今夜は何だか雨が降りそうだが, 早めに帰ろうよ. 濡れるよ.〉

(フリソー[ドーナ°]は「降りそうだが」にあたる.)

1-7-1-4 どうも熱があるよう {だから／なので}, 早めに帰ることにした。

ドーモ オリヤー ネットウカ° アルヨーノコト[ドーナ°], ネットウッポイカ°, ソ
シテ セナカカ° サブイニ, コレワ カゼオ ヒーチャーナノー[デ], ハヤメニ ヒ

ツカエラズニ.

〈どうも私は熱があるようなことだが、熱っぽいが、そして背中が寒いよ、これは風邪を引いたようなので、早めに帰ろう.〉

1-7-1-5 雨が降るかもしれない {から／ので}, 傘を持ってきた。

アメカ° フルカモ シレノーヨ, カサ モッテカスカー.

〈雨が降るかもしれないよ、傘を持っていこうか.〉

({から／ので} にあたるものは形式としては出なかった.)

1-7-2 推量表現

1-7-2-1 雨が降るだろうから、傘を持っていけ。

アメカ° フルヨ, コマルヨ, カサー モッテイカデイチャー ダメダヨ, モッテ イカデ.

〈雨が降るよ、困るよ、傘を持っていけないのでいてはだめだよ、持って行きなさい.〉

({から} にあたるものは形式としては出なかった.)

1-7-2-2 山ではかなり雪が降っただろうから、雪崩が心配だ。

ヤマジャー カナリ ユキカ° フッテール[ドーデ]ヨ, ナダレニ キオ ツケデヨ一.

〈山じゃかなり雪が降っているからよ、雪崩に気を付けなさいよ.〉

〈雪崩はユキナケ° と言う.〉

(推量表現の回答が得られなかった.)

1-7-2-3 たいした雨にはならないだろうから、傘は持っていない。

タイシタ コター ナイラ[ニ] アメワ, カサモ アレワ モッテイカデモ.

〈たいしたことはないだろうに雨は、傘もあれば持っていないでも.〉

1-7-2-4 外は寒いだろうから、厚着をして出かけよう。

ソトモ アリャ ウント サブイヨ, アトゥキ° オ シテ イカデチャ, カゼオ ヒク[デ].

〈外もあれはうんと寒いよ、厚着をして行こう、風邪を引くので.〉

({だろうから} にあたるものは形式としては出なかった. カゼオ ヒク[デ]が「風邪を引くので」の意で、原因・理由に相当する.)

1-7-2-5 この分だと明日も雨だろうから、遠足は中止になるだろう。

ナンダカ サッパリセノーカ°, アシタモ アメドゥラヨー, イエンソカー イマニ ヤメニ ナルヨ.

〈何だかさっぱりしないが、明日も雨だろうよ、遠足は今に止めになるよ.〉

({から} にあたるものは形式としては出なかった.)

1-7-3 丁寧表現

1-7-3-1 ちょっと話がありますので、ここに来てください。

チョックラ ヨージカ° アル[ドーカ°] ココエ キテクレデー.

〈ちょっと用事があるのだからここへ来てください.〉

(アル[ドーカ°]は「あるのだが」にあたる.)

1-7-3-2 危険ですので、かけこみ乗車はやめましょう。

アブナイヨ、カケコミジョーシャワ ヤメマショー.

〈危ないよ、かけこみ乗車はやめましょう.〉

＜奈良田では言わない。かけこみ乗車ということがない。＞

1-7-3-3 国の両親が訪ねて来ますので、今日は少し早めに帰らせていただいてもよろしいですか。

ウマレトー エーノ オトッサント オカーカ° キョー, オカート キョーカ°,
ウラカ° トコ タズネテ クルドーヨ, ソイデ キョーワ インメー ハヤク カ
エラシテ モライタイドーカ° ヨイラカ.

〈生まれた家のお父さんとお母さんが今日、お母さんと、今日が、私のところ訪ねて来るのだよ、それで今日は少し早く帰らせてもらいたいのだがよいだろうか.〉

(クルドーヨ, ソイデは「来るのですよ、それで」にあたる.)

1-8 文末用法

1-8-1 倒置

1-8-1-1 ここでちょっと待っていて。すぐにもどって来るから。

ココデ チョックラ マッチデーデヨ, チューロ モドッテ クル[デ].

〈ここでちょっと待っていてよ、すぐに戻って来るので.〉

＜チューロは「すぐ」の意.＞

1-8-1-2 ちょっと、5千円貸して。月末までに返すから。

ゴムシンドーニ, ゴセンエン カイテクレデー. トウキワトゥマデニャー カエシタ
イトウモリデ イル[ドーカ°].

〈お願いだから、5千円貸してくれよ。月末までには返したいつもりでいるのだが.〉

(トウキワトゥは「つきまつ(月末)」.)

1-8-1-3 駅まで迎えに来て。7時に着くから。

テーシャバマデ ムカーニ キテ クレデヨ, シチジニャ カットウクヨー.

〈停車場まで迎えに来てください、7時には着くよー.〉

({から}にあたるものは形式としては出なかった.)

1-8-2 終助詞的用法

1-8-2-1 あとで、もう一度電話するから。

ソージャ ナイヨ、オレカ° アトデ イマイチド デンワ スルヨ。

〈そうじゃないよ、私が後で今一度電話するよ。〉

({から} にあたるものは形式としては出なかった。)

1-8-2-2 ちょっと出かけてくるけど、おやつ、プリンが冷蔵庫に入っているからね。

チョックラ イッテ クルヨ、オヤトゥワナヨ、プリンカ° レーズーコニ ハイッ
テル[ドーデ] カデヨー。

〈ちょっと行って来るよ、おやつはな、プリンが冷蔵庫に入っているので食べろよー。〉

1-8-2-3 君のこと決して忘れないから。

オイシノ コトワ デッタイ ワスレノーヨ、オラー。

〈あなたのことは絶対忘れないよ、私は。〉

({から} にあたるものは形式としては出なかった。)

1-8-2-4 (兄にいじめられた弟が兄に対して) お父さんに言いつけてやるからな。

オトッサンニ オレカ° イートウケテ クレルヨ オレカ° 。

〈お父さんに私が言いつけてやるよ、私が。〉

<男の兄弟がないのでこのように言ったことがない。>

({から} にあたるものは形式としては出なかった。)

1-8-2-5 5時まで駅前の喫茶店にいるから。

ゴジゴロマデナーヨ、イエキマーノ キッサテンニ イル[デ]ヨー。

〈5時頃までねー、駅前の喫茶店にいるのでよ。〉

1-8-2-6 ちょっと、スーパーまで買い物に行ってくるから。

チョックラナヨ カイモンニ スーパーマデ イッテ クルヨー。

〈ちょっとね、買い物にスーパーまで行って来るよー。〉

({から} にあたるものは形式としては出なかった。)

1-8-2-7 秘密をばらしたら、ただではおかないからな。

オイシト ハナシトー ナイショバナショー ゼッタイ ユーデ ナイヨ イッタラ
ホンコニ ユルサノーヨ。 ナイショバナシオ、オイシト ハナシトー。

〈あなたと話した内緒話を絶対言うのでないよ、言ったら本当に許さないよ。内緒話を、
あなたと話した。〉

({から} にあたるものは形式としては出なかった。)

2 「のだから」の用法

2-1 「から(ので)」との相違

2-1-1a 時間がないから急いだ。(事実の叙述)

時間がないから急ごう。(意志)

時間がないから急げ。(命令)

ジカンカ° ナイドーヨ, イソイデ セデーシャドーヨ.

〈時間がないんだよ, 急いでしなさいよ.〉

(命令の回答が得られた. {から} にあたるものは形式としては出なかった.)

2-1-1b ×時間がないんだから急いだ。(事実の叙述)

時間がないんだから急ごう。(意志)

時間がないんだから急げ。(命令)

ダメダ ジカンカ° ハイ ナイヨー, イソガレシャドーヨ.

〈だめだ, 時間がもうないよー, 急ぎなさいよ.〉

(命令の回答が得られた. {から} にあたるものは形式としては出なかった.)

2-1-2 天気がいいから散歩に出かけた。

×天気がいいんだから散歩に出かけた。

キョーワ マ オテンキカ° ヨイ[デ] アリッテミツカ インメー.

〈今日は, ま, お天気がよいので歩いてみようか, 少し.〉

2-1-3 毎日雨が降るから洗濯物が乾かない。

×毎日雨が降るんだから洗濯物が乾かない。

コバリダ, マイニチ アメカ° フル[ドーデ] センダクモノカ° カワカノーデ コマリダ.

〈困った, 毎日雨が降るので線 t くものカ° 乾かないで困った.〉

(コバリダはコマリダの音が崩れたもので, 同じ.)

2-1-4 タベ大雨が降ったから地面に水たまりができています。

×タベ大雨が降ったんだから地面に水たまりができています。

ユンベ ザヌケダットー[ドーデ] ダメドー ミドゥタマリカ° イッパイ デキテシマットドーヨ, ソリヤー オーブリダットー[デ].

〈タベざんざん降りだったのでだめだよ, 水たまりがいっぱいできてしまったのだよ, そりゃー大降りだったので.〉

＜ザヌケはざんざん降りのこと. ＞

2-2 意味・用法（接続調査を兼ねる）

2-2-1 確かな事実とその当然の結論

2-2-1-1 ?こんなに頑張ったから, 今度はうまくいくはずだ。

こんなに頑張ったんだから, 今度はうまくいくはずだ。

コカ° ーニ ガンバッテ, コンダー ウマク イクハズドーカ° .

〈こんなに頑張って, 今度はうまくいくはずだが.〉

({から} にあたるものは形式としては出なかった.)

2-2-1-2 ? 大事な話をしているから、子どもはあっちへ行ってなさい。

大事な話をしているんだから、子どもはあっちへ行ってなさい。

アノナーヨ、ダイジナ ハナシオ スル[ドーデ] オンダチャー ソッチノ アノ
トナリノ ヘヤデ アスンデレヨ。

〈あのねー、大事な話をするのでお前たちはそっちのあの隣の部屋で遊んでろよー。〉

(山梨方言では「するので」の形で共通語の「しているので」という意味のアスペクト
を表し得る。)

2-2-1-3 × こっちは真剣だから、からかわないでくれよ。

こっちは真剣なんだから、からかわないでくれよ。

①オリヤー シンケンドヨー、カマッチョヤレ。

〈私は真剣だよー、からかわないでよ。〉

②オリヤー シンケンドーヨー、カマッチョデヨー。

〈私は真剣だよー、からかわないでよ。〉

(②のシンケンドーヨーの方が本来の形。①のドヨーは崩れた形。)

2-2-2 聞き手に関する情報－行動要求・認識要求

2-2-2-1 × 若いから、1度や2度の失敗でくよくよするな。

若いんだから、1度や3度の失敗でくよくよするな。

オイシャー ワカイ[ドーモノー], イチドヤ ニドノ シッパイデ ナニヨー ソー
クヨクヨスルー。

〈あなたは若いのだもの、一度や二度の失敗で何をそうくよくよする。〉

(クヨクヨスルーは「くよくよするのだ・くよくよするのか(するのではない)」の意。)

2-2-2-2 × 受験生だから、もっと真剣に勉強しなさい。

受験生なんだから、もっと真剣に勉強しなさい。

オイシャー シケンオ ウケル[ドーデ] アスバレーデ マット ベンキョーセデヨ,
ウチオチレバ ダメドーヨ。

〈あなたは試験を受けるのだから遊ばないでもっと勉強しなさいよ、落ちればだめだよ。〉

2-2-2-3 × せっかく留学するから、ちゃんと勉強して来いよ。

せっかく留学するんだから、ちゃんと勉強して来いよ。

セッカク ゼニョー カケテ アメリカノ ガッコーサ イク[ドーデ] チャント
ベンキョーシテ コデヨ。アスンデキトージャ ダメドーヨ。

〈せっかく金をかけてアメリカの学校へ行くのだからちゃんと勉強して来いよ。遊んで
きたのではだめだよ。〉

(イク[ドーデ]は「行くので」にあたる。)

2-2-3 後件が聞き手の利益になる事柄の場合

2-2-3-1 時間はまだ十分あるんだから、ゆっくりしていってくれ。

ジカンワ マダ アル[ニ], ユックリ シテ イカンナー, ソー アワテデーテ.

〈時間はまだあるのに、ゆっくりしていきなさい、そうあわてないで.〉

(アワテデーテはアーテデーテにも聞こえる.)

2-2-3-2 チャンスはまだあるんだから、元気を出せよ。

チャンスワ マダ アルジャナイカヨ, ゲンキオ ダサデヨー.

〈チャンスはまだあるじゃないかよ、元気を出せよ.〉

({んだから} にあたるものは形式としては出なかった.)

2-2-3-3 もうじき退院できるんだから、あと少しの辛抱じゃないか。

ハイ チューロ ターインドーカ° デキル[カー], ソリャー アト インメー[ドード] シンボー シテーレヨー.

〈もうすぐ退院だが、できるから、そりゃーあと少しなので辛抱しているよー.〉

(デキル[カー]は「できるから」の意.)

2-2-4 倒置

2-2-4-1 体に気をつけろよ。もう若くないんだから。

オイシモ カラダニ キオ ツケレヨ. ハイ ワカクワ ナイ[ドーヨ]. シチジュー
オ コエテルドーヨ.

〈あなたも体に気を付けろよ。もう若くはないのだよ。七十を越えてるのだよ.〉

(キオツケレヨはキオツケデヨにも聞こえる.)

2-2-4-2 自分で決めろよ。もう子どもじゃないんだから。

テマイデ キメレヨー, モー コドモジャ ナイ[ドード].

〈自分で決めろよー、もう子供じゃないので.〉

(キメレヨーはキメデヨーにも聞こえる.)

2-2-4-3 そりゃ心配するよ。親なんだから。

ソリャー シンパイセジャー, オヤ[ドーモノー].

〈そりゃー心配するだろうよ、親だもの.〉

(シンパイセジャーは「心配せずよ (心配するだろうよ)」が元の形。オヤ[ドーモノー]
は「親だもの、親なんだもの」にあたる.)

2-2-5 終助詞的用法

2-2-5-1 私、絶対に彼と結婚するんだから。(決意)

オリャー オイシオ ウント スキ[ドード] ゼッタイ ケッコンスルトウモリデ
イルイソ.

〈私はあなたをうんと好きなので絶対結婚するつもりでいるんだよ.〉

(「彼と」ではなく「あなたと」という回答になった. スキ[ドード]は「好きなので」にあたる. 終助詞的用法回答は得られなかった.)

2-2-5-2 こっちが甘い顔をすると, すぐ調子にのるんだから。

オレカ° アマイ カオー スル[ドード] オイシャー チューロ チョーシニ ノ
ツチャー ソーユー コトオ スル[ドード] シッパイスルダイ.

〈私が甘い顔をするのであなたはすぐ調子にのってはそういうことをするので失敗するんだよ.〉

(スル[ドード]は「するので」にあたる. 終助詞的用法回答は得られなかった.)

2-2-5-3 あの男ときたら, まったく酒癖が悪いんだから (困ったやつだ)。

アノ ヒター ダメドー サケックセカ° ワルイ[ドード], イトゥモ アドゥーデ
ホンコニ ミンナニ ニクマレテルダイ.

〈あの人はだめだよ, 酒癖が悪いので, いつも後で本当にみんなに憎まれているんだよ.〉

3 接続詞「だから」の用法

3-1 接続助詞「から」の文に言い換えられ, 前件・後件が同一の話し手によるもの

3-1-1 最近毎日雨が降る。だから洗濯物が乾かない。(事態の原因)

コノコ° ロ マイニチ アメカ° フル[ドード] ダメダ, センダクモノワ ヒトツ
モ カワカノー.

〈このごろ毎日雨が降るのでだめだ, 洗濯物はひとつも乾かない.〉

(接続詞「だから」の用法回答は得られなかった.)

3-1-2 もう家を出る時間の 30 分前だ。だから早く起きなさい。(発言・態度の根拠)

サー ハヤク オキロー, イトゥマデ ネテルドー, サンジップン マードーヨ, ハ
ヤク オキロ.

〈さあ早く起きろー, いつまで寝てるんだ, 30 分前だよ, 早く起きろ.〉

(接続詞「だから」の用法回答は得られなかった.)

3-1-3 すぐにもどってくる。だからここで待っていてくれ。(理由を表さない用法)

チューロ イッテ クルヨー, [ソードード] ココデ チョックリ マッテーテ ク
レデヨー.

〈すぐ行って来るよ, そうなのでここでちょっと待っていてくれよ.〉

3-2 接続助詞「から」の文に言い換えられ, 前件・後件の間に話者交替があるもの

3-2-1 相手の発話中の事態Pを受け, それから導かれる帰結Qを述べるもの

3-2-1-1 A:「最近毎日雨が降るね。」

B:「うん。だから洗濯ものが乾かなくて困るよ。」

A「ダメダ、コノコ° ロ マイニチ アメカ° フル[ドーデ].」

B「ソーヨナー、ダメドー、センダクモノカ° カワカデ コマルラー.」

〈A「だめだ、このごろ毎日雨が降るので.」

B「そうよなあ、だめだー、洗濯物が乾かないで困るだろう.」

(接続詞「だから」の用法回答は得られなかった.)

3-2-1-2 A:「今日は雨が降るそうだね。」

B:「だから傘を持っていきなさい。」

A「キョーワ ナンダカ フリソードーヨ.」

B「メンドーデモ カサー モッテイカデヨ.」

〈A「今日は何だか降りそうだよ.」

B「面倒でも傘を持って行きなさいよ・」

(接続詞「だから」の用法回答は得られなかった.)

3-2-2 聞き手に結論を求めるもの

3-2-2-1 A「大変だ。雨が降ってきた。」

Ba (雨が降るぐらいでどうして大変なのか理解できず)「だからどうしたと言うの?」

Bb: (雨が降るぐらいでどうして大変なのか理解できず)「だから何なの?」

Bc: (雨が降るぐらいでどうして大変なのか理解できず)「だから?」

B「ソレカ° ナニー、ウラマーリワ コマッチャ イノーヨ ヒトトゥモ.」

〈B「それが何、私の方では困っちゃいないよ、ひとつも.」

(話者は、短く言い放つような言い方はあまり用いない傾向がある.)

3-2-3 相手の発話中の事態や発話時の状況Pが、既知の事態Qの原因・理由であると認定するもの

3-2-3-1 A:「事故で電車が遅れているそうだよ。」

B:「そうか。だから、みんなまだ来ないんだ。」

A「アノナーヨ、ジコデ デンシャカ° ウント オクレテルドーツチューヨ.」

B「マー ソーカ、ドーリデ ミンナカ° マダ コデニー、マチテルドーカ° .」

〈A「あのねー、事故で電車がうんと遅れてるんだと言うよ.」

B「まあそうか、どおりでみんながまだ来ないよ、待っているのだが.」

3-2-3-2 (外出先で混雑しているのにうんざりして)「(これ) だから連休に出かけるのは嫌なんだ。」

ヨイサ コーフ イッテミタイバ コンザトゥシテルモ ナンニモ、ヤッパシ ヤス

ミニ イットージャ ダメドーニ. ウント コンダットウシテトー[ニ], オラー ク

タビレトーヨ.

〈さて甲府行ってみたら混雑してるも何も、やっぱり休みに行ったのではだめだよ. うんと混雑していたので、私はくたびれたよ.〉

(話者は例文を見て、直訳と言うよりは、この趣旨のことを述べる回答をしてくれた.)

3-2-3-3 (テレビで行楽地が混雑しているのを見て)「(あれ) だから連休に出かけるのは嫌なんだ。」

テレビデ ミトーカ° カナリ マチャー コンザツシテルヨ, [ソードーデ] レン
キューニワ, レンキューイトウ アリットージャ ダメドーヨ. レンキューニ イッ
トージャ ダメドーニ.

〈テレビで見たがかなり町は混雑してるよ, そうなので連休には, 連休時歩いたのではだめだよ. 連休に行ったのではだめだろうに.〉

(レンキューイトウは「連休時」のこと. 話者は例文を見て、直訳と言うよりは、この趣旨のことを述べる回答をしてくれた.)

3-2-4 相手の発話中の事態や発話時の状況Pが, 既に行った発話行為Qの理由であると認定するもの

3-2-4-1 (「やめておけ」と注意したのに, それを守らないで間違いをおこしたので)「だから, やめておけと言ったのだ。」

(「やめておけ」と注意したのに, それを守らないで間違いをおこしたので)「だから, やめておけと言っただろう。」

(「やめておけ」と注意したのに, それを守らないで間違いをおこしたので)「だから, やめておけと言ったじゃないか。」

①ヤメロチテ アラホロ チューイシトージャ ナイカヨ, ソリョー オイシャー
ユー コトオ キカデーテ ダメー, ヒトードーレン ホレデ マチカ° イオ オコ
イトードーヨ, ヤメテ オケバ ヨカットードーニ.

〈やめろってあれほど注意したじゃないかよ, それをあなたは言うことを聞かないで(不明)それで間違いを起こしたのだよ, やめておけばよかったのに.〉

(ダメーはダネーにも聞こえる.)

②ヤメロチテ イットーモノオ スルドー[デ] ホレ シッパイモ アル, イットー
ジャ ナイカヨ.

〈やめろって言ったのをするので, それ, 失敗もある, 言ったじゃないかよ.〉

3-2-4-2 (孫に, 注意したのに間違いをおこしたので)「だから, するなと言ったじゃないか」〈G 本 096〉

オレカ° マコ° ニ チューイシトードーモノー, マチカ° イオ オコイトージャ
ナイカヨ, [ソードーデ] オジーサンモ チャント オコッタジャンケ ソシテ

オシエトージャ ナイカヨ.

〈私が孫に注意したのに、間違いを起こしたではないかよ、そうなのでおじいさんもちやんと怒ったではないか、そして教えたではないかよ.〉

(話者は「ジャンは使わない」と調査中、別のところで述べたが、ここではオコッタジャンケが出現. しかし、山梨方言域の中で奈良田はジャンの出現が非常に少なく、もとはなかったのが、近年入り込んだものと思われる.)

3-3 接続助詞「から」の文に言い換えられず、「あなたもわかっているはずなのに」という話し手の態度を表すもの

3-3-1 「あなたが…と言うから私は～と言う」という発話行為間の因果関係があるもの

3-3-1-1 A「さっき頼んだ仕事、ちゃんとやってね。」

B「うん、今日中にやるよ。今ちょっと忙しくてできないんだ。」

A「明日までにやってよ。」

Ba「だから、今日中にやると言っているじゃないか。」

Bb「だから、今日中にやるよ。」

A「ハジメ タノンドー シコ° トー, オイシ チヤント ヤッテカー.」

B「キョージュニー スルヨー, イマ インメー イソカ° シー[ドーデ] デキノーカ° ヤルヨー.」

A「アシタマデニ セデヨー.」

B「[ソードーデ] キョージュニー ヤルチテ イッテルジャ ナイカヨ.」

〈A「さっき頼んだ仕事を、あなたちゃんとやったか.」

B「今日中にするよ、今少し忙しいのでできないがやるよー.」

A「明日までにしろよー.」

B「そうなので今日中にやるって言ってるじゃないかよ.」

3-3-1-2 A:「今日はお願いがあって来たんだ。」

B:「何? 話してみなさい。」

A:「とても大事なことなんだ。」(と言ってなかなか話そうとしない)

B:「だから、話してみなさい(と言っているじゃないか).」

A「キョーワ ゴムシンニ キトードーカ° .」

B「ナニヨー, ハナイテ ミデー.」

A「ウントナヨ, ダイジナ コトドーヨ.」

B「ソレジャー ハナイテ ミンナ.」

〈A「今日はお願いに来たのだが.」

B「何を、話してみなさい.」

A「うんとね、大事なことだよ.」

B「それでは話してみな.」

(「と言っているじゃないか」などの引用表現をとる場合の回答を得られなかったが、3-3-1-1 の回答を参照するに求めれば「イッテルジャ ナイカヨ」のような形式が出たと思われる.)

3-3-2 発話行為間の因果関係がないもの

3-3-2-1 A:「さっき頼んだ仕事、やってくれた？」

B:「え？ 何のこと？」

A:「だから、午前中に頼んだあの仕事だよ。」

A「ケサ タノンドー シコ° ト ヤッテ クレデカー.」

B「ナニー、ナンノ コトー.」

A「[ソードーデ] オイシャー ゴゼンチューニ タノンドー アノ シコ° トドー
ヨ、ウチャースレトー？」

〈A「今朝頼んだ仕事やってくれたか.」

B「何、何のこと.」

A「そうなので、あなたは、午前中に頼んだあの仕事だよ、忘れたの？」

3-3-2-2 A:「今日、ちょうど田中さんに会ったよ。」

B:「どの田中さん？」

A:「だから、昨日話していた3丁目の田中さん。」

A「キョーワナーヨ、チョード タナカサンカ° キテーテ イキアットー.」

B「イキアットーッテ ダレトー、ドノ タナカサントー.」

A「オイシャー ウチワスレトー、キニョー ハナシトージャ ナイカヨ、サンチョ
ーメノ タナカサンゾ.」

〈A「今日はね、ちょうど田中さんが来ていて行き会ったよ.」

B「行き会ったって誰と、どの田中さんと.」

A「あなたは忘れた (のか)、昨日話したではないかよ、三丁目の田中さんだ.」